

2001.10.26 比較現代日本特論 I

第3回「家事と仕事」(田中重人)

1. **家事と仕事**
2. **有償労働と無償労働**
3. **世帯と市場の分離**

# 【家事と仕事】

仕事にあって家事にないもの：

労働の代価

量や質が計算される

競争がある

# 【労働とは】

人間の活動のうち次の2条件を満たすもの

設備や原料と結びついて

付加価値をもつ生産物を生み出す

他人にかわってやってもらえる

2番目の条件がポイント

## 労働ではない活動の例：

寝具 + 睡眠 = 疲労回復

台所 + 食材 + 調理 + 食事 = 栄養

# 【有償労働と無償労働】

有償労働：

設備 + 原料 + 労働 = 生産物      販売

無償労働：

設備 + 原料 + 労働 = 生産物      消費

# 【世帯と市場の分離】

雇用労働の増加 「世帯」での労働と「市場」でやりとりされる労働の分離

(日本では高度成長期以降)

# 家事労働：

無償労働のうち、労働の提供者と生産物の消費者が同一の世帯にいる場合

